



いちほまれ栽培No.8

【生育調査状況と管理情報】

- 出穂期を迎えたら遅れずに病害虫防除を実施しましょう！
- 出穂期以降の登熟期間は間断通水を実施しましょう！

JA福井県

一時は梅雨明けをおもわせるような夏空の日もありましたが、台風3号の影響もあり断続的な雨が続いています。これまで続いた長雨の影響でやや生育は停滞していましたが、今後は高温の日が続く事が予想され、よりきめ細やかな水管理が必要となります。特に出穂期を迎えるこの時期は圃場に新鮮な水を入水し、間断通水を行いましょ！



三国地区 いちほまれ移植



三国地区 いちほまれ直播

1. 生育調査結果

- 連休植えのいちほまれは、早い所で走り穂が確認され、5月中旬植えのところでは幼穂形成期となっています。
- 5月上旬播種の直播でも、幼穂長が約3ミリとなり幼穂形成期に入っています。
- 草丈は平年に比べやや長く、茎数も平年に比べやや多く生育しています。

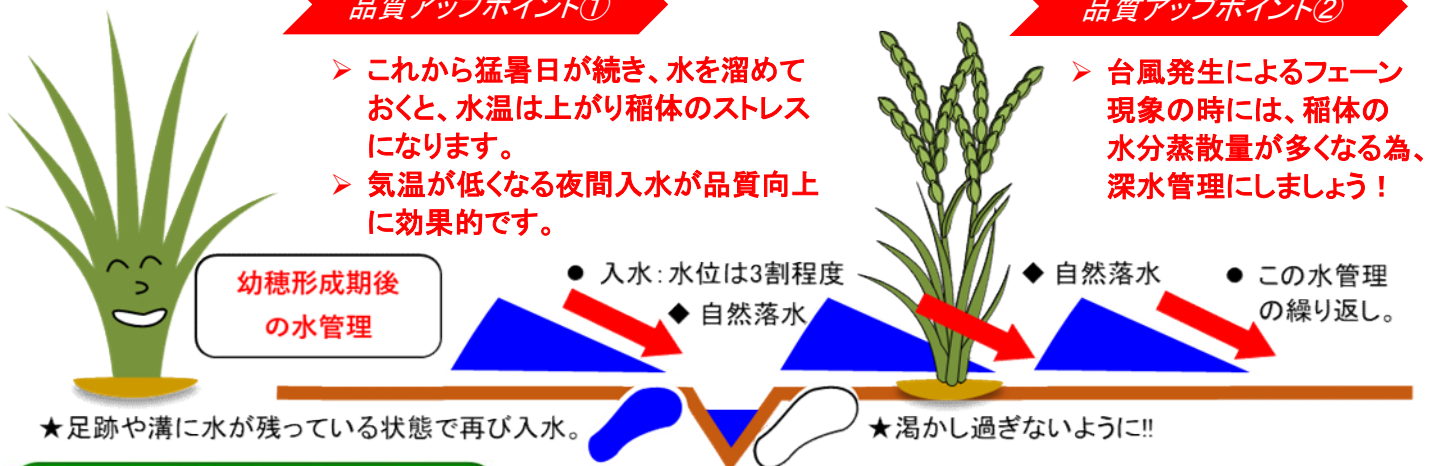
2. いちほまれ栽培のポイント

品質アップポイント①

- これから猛暑日が続く、水を溜めておくと、水温は上がり稲体のストレスになります。
- 気温が低くなる夜間入水が品質向上に効果的です。

品質アップポイント②

- 台風発生によるフェーン現象の時には、稲体の水分蒸散量が多くなる為、深水管理にしましょう！



3. 病害虫対策について

- カメムシ多発時は仕上げ防除で品質向上！

【粉剤の場合】

回数	防除時期	使用薬剤	散布目安
1回目	穂揃期	チームワーク粉剤DL	出穂の3~5日後
2回目	傾穂期	ビームスタークル粉剤5DL	1回目の7日後
3回目	仕上げ(適宜)	スタークル粉剤DL	2回目の7日後

